

## 第5章 公共施設等に関わる市民意識の分析

### 1. 市民意識調査の概要

#### (1) 調査の全体像

蕨市では、市民の市政に対する意見・要望等を把握するため、毎年市民意識調査を実施している。平成27年度は、特に公共施設に関する市民ニーズを重点的に把握するため、関連する設問について、本調査研究と連携して実施した。公共施設に関する部分の調査票の抜粋は、巻末の資料編に掲載するとおりである。

調査は下表の要領で、20歳以上の市民2,000人に対してアンケート調査票を送付し、回収率は42.5%であった。

図表 5-1 市民意識調査の概要

|             |  |
|-------------|--|
| <b>調査期間</b> | 平成27年8月4日～31日  |
| <b>調査対象</b> | 市内在住の満20歳以上の男女2,000人   |
| <b>抽出方法</b> | 住民基本台帳から各地区の年齢層別の人口比率に基づき、男女別に無作為抽出  |
| <b>実施方法</b> | 行政連絡員による送付・郵送回収  |
| <b>回収率</b>  | 42.5%、850票<br>地区別回収数：(錦町地区104票、北町地区130票、中央地区265票、南町地区135票、塚越地区205票、地区無回答11票)<br>地区別回収率：(錦町地区12.5%、北町地区15.5%、中央地区31.4%、南町地区16.1%、塚越地区24.5%) |

#### (2) 分析方法

平成27年度の市民意識調査における公共施設についての設問(問27～33)の回答データを活用し、問35の属性を踏まえて分析を行った。

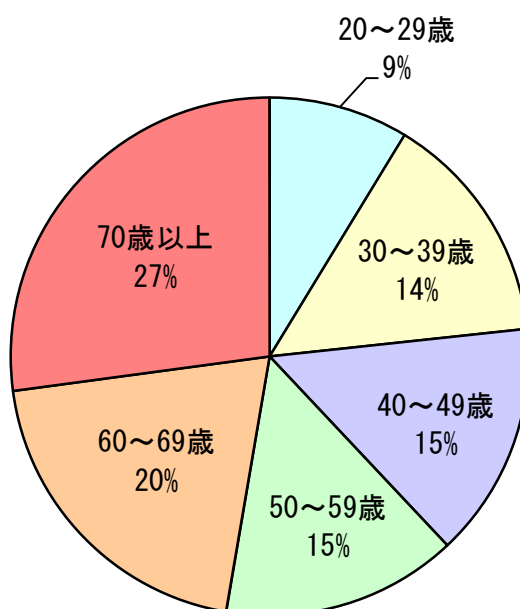
なお、本調査研究における集計では、設問・選択肢の特徴等を鑑みてn数は各設問の回答者数とし、未回答は除外する集計方法を採用した。

## 2. 分析結果の概要

### (1) 回答者属性

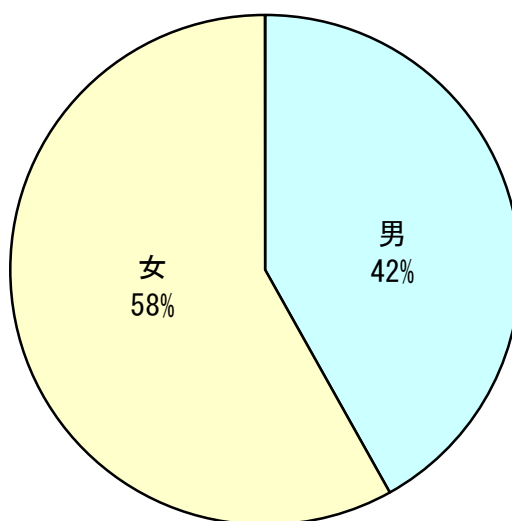
年齢は、60歳以上が全体の約半数を占めている。

図表 5-2 回答者の年齢構成



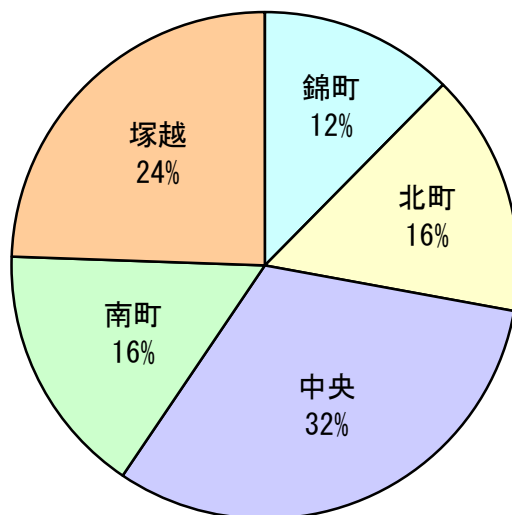
性別は、女性が約6割である。

図表 5-3 回答者の性別



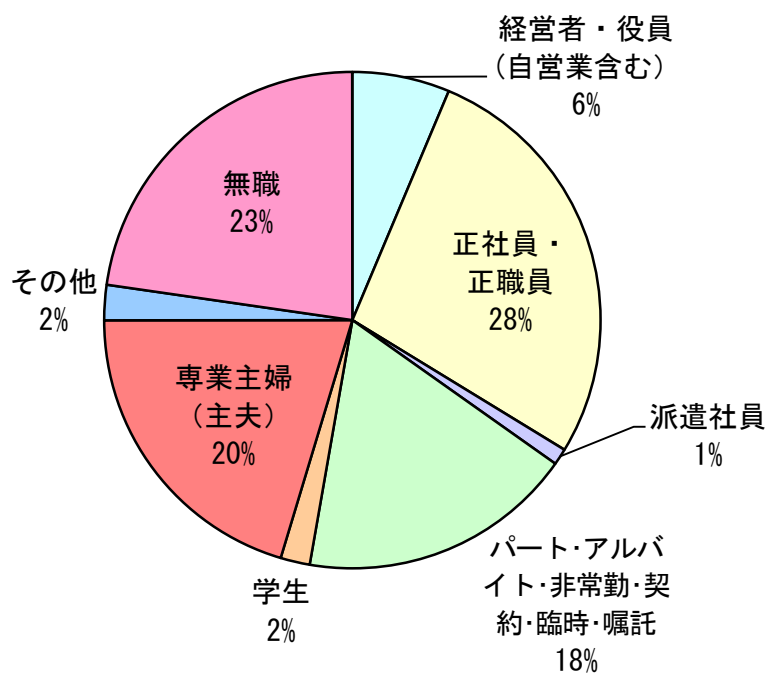
居住地区は、中央地区が約3割を占めている。

図表 5-4 回答者の居住地区



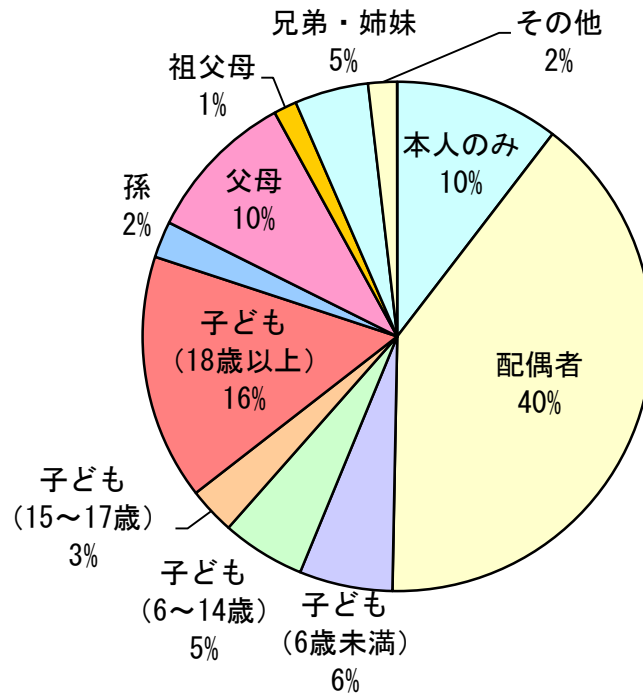
職業は、「正社員・正職員」、「無職」、「専業主婦（主夫）」の順に割合が高く、年齢と相関があると思われる。

図表 5-5 回答者の職業



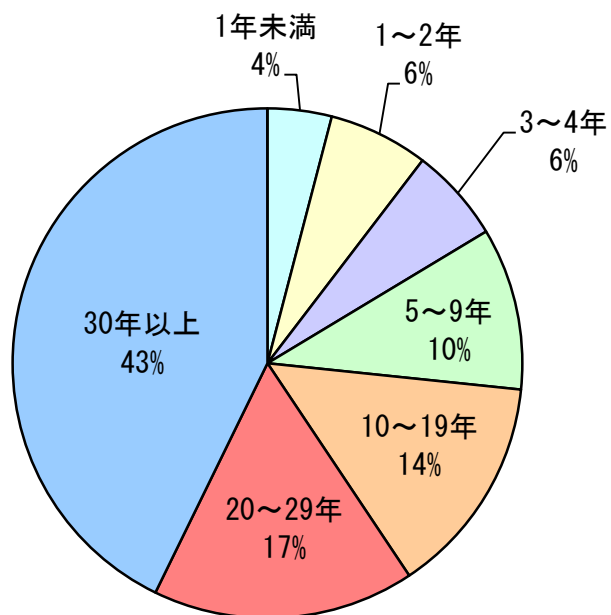
同居の家族は、「配偶者」、「子ども（18歳以上）」の割合が高い。

図表 5-6 回答者の家族構成



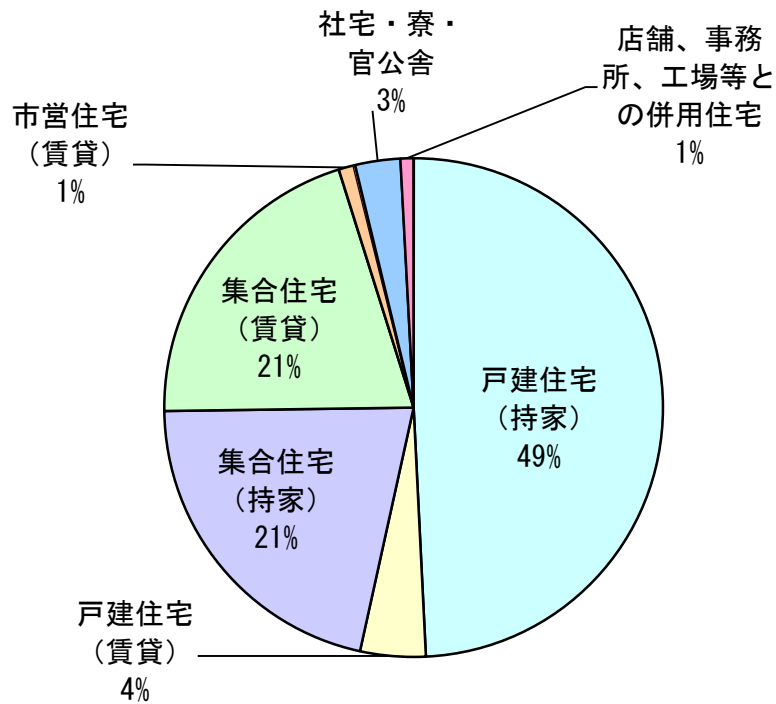
居住年数は、20年以上が6割を占めている。

図表 5-7 回答者の居住年数



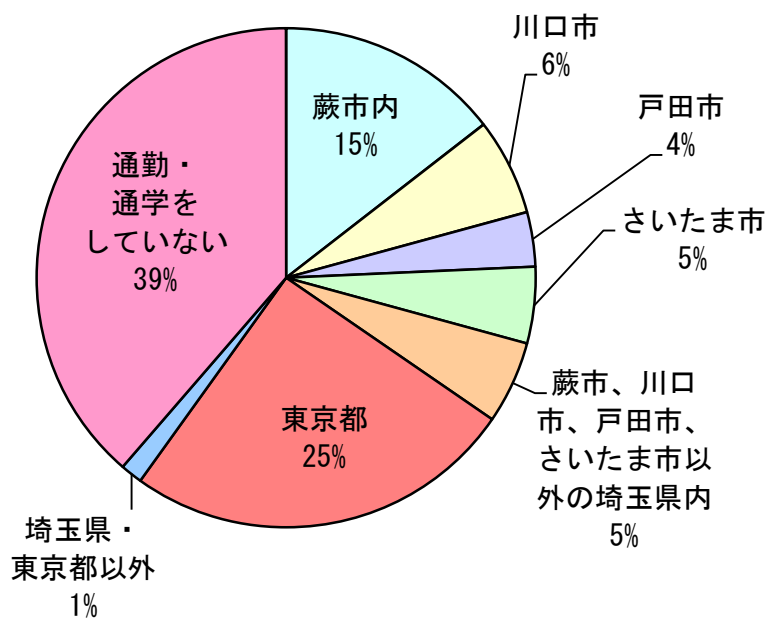
居住分類としては、戸建住宅（持家）が約半数を占めている。公営住宅に居住する回答者は1%であった。

図表 5-8 回答者の居住分類



通勤・通学をしている項目の中では、東京都の約3割が一番多い。また、通勤・通学をしていないが4割を占め、これは職業と相関があると思われる。

図表 5-9 回答者の通勤・通学地



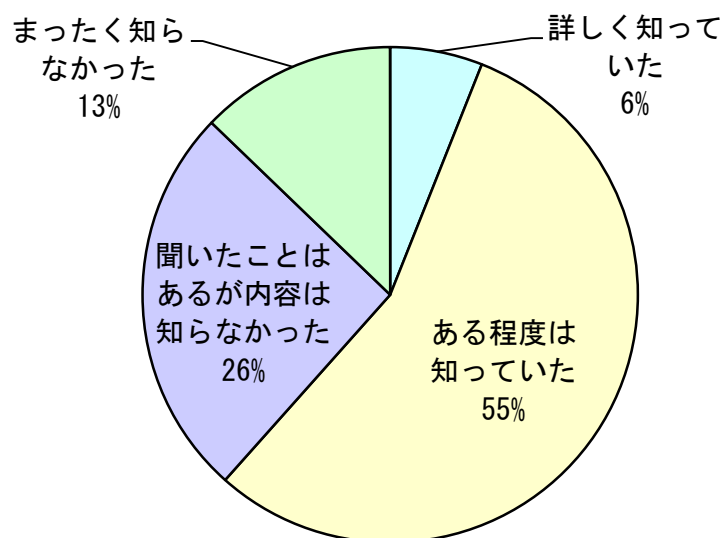
## (2) 公共施設の現状認識

### 【設問】

あなたは、全国的に、公共施設、インフラ(道路、上下水道、橋など)等の老朽化やこれに伴う建替え需要の増大が課題になっていることを、以前から知っていましたか。(○印は1つ)

公共施設の現状は、「詳しく又はある程度知っていた」が6割を超え、市民の認知度は低くない。

図表 5-10 全国的な公共施設の現状認識

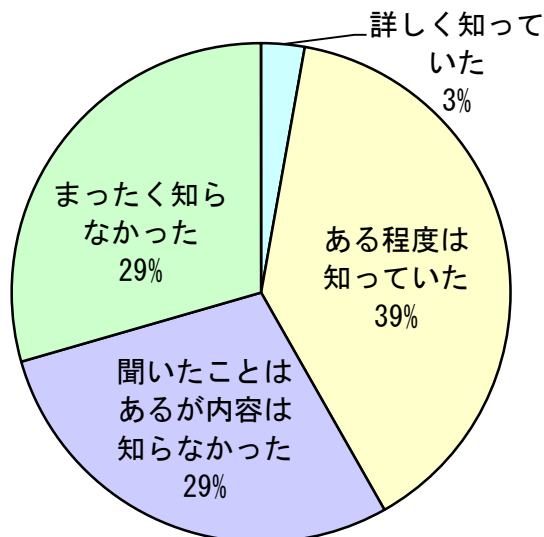


### 【設問】

蕨市においても、同じ課題を抱えていることを、以前から知っていましたか。(○印は1つ)

市内の公共施設の現状は、「詳しく又はある程度知っていた」が約4割である。

図表 5-11 蕨市における公共施設の現状認識

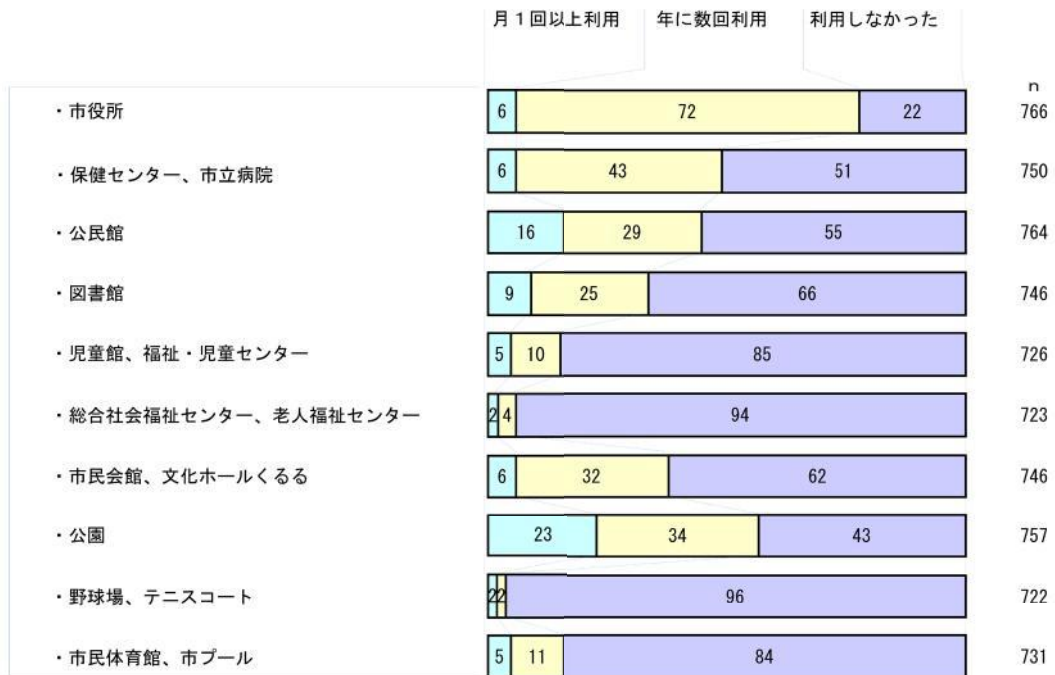


### (3) 公共施設の利用状況

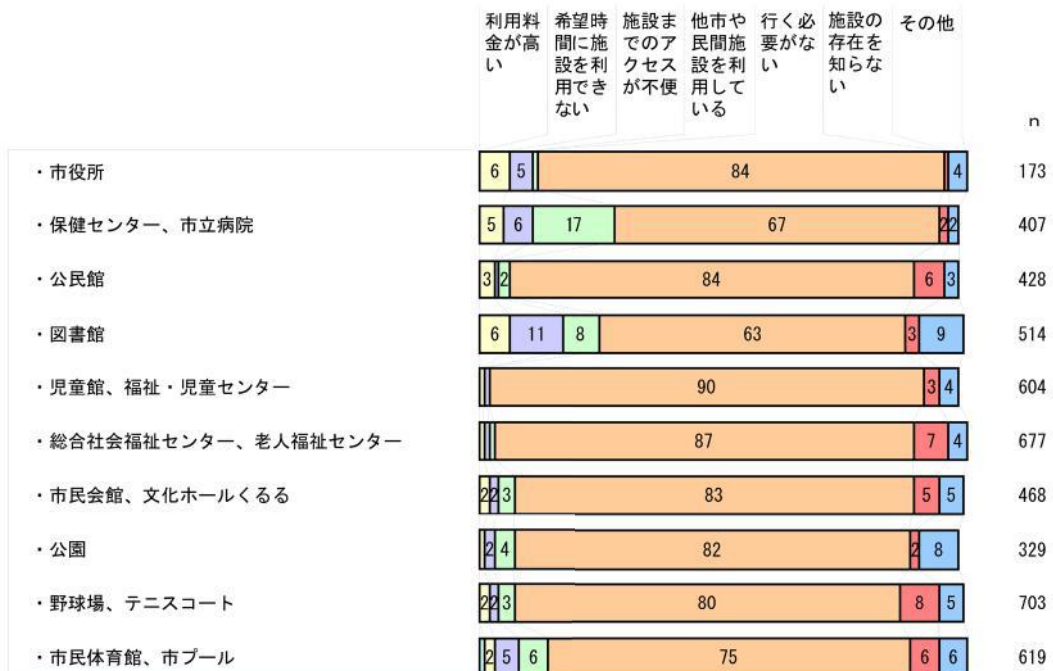
#### 【設問】

あなたは、過去1年間に下記の蕨市の公共施設をどのくらい利用しましたか。次のそれぞれの施設について、該当する番号に○を付けてください。(○印は1つ) また、「利用しなかった」に○を付けた場合は、その理由に該当する番号に○を付けてください。(○印はいくつでも)

図表 5-12 公共施設の過去1年間の利用状況



図表 5-13 公共施設を利用しなかった理由



#### (4) 公共施設に対する市民感覚

##### 【設問】

あなたは蕨市の公共施設、インフラ(道路、橋、上下水道など)等について、どのように感じていますか。あなたの気持ちに近いものをお選びください。(○印はそれぞれ1つ)

「利用者が一部の市民に偏っている」と考える人が約5割を占めている。また、老朽化についても半数近くがそう感じている。

図表 5-14 公共施設に対する市民感覚

|                                 | そう感じる | どちらかといえばそう感じる | どちらともいえない | どちらかといえばそう感じない | そう感じない | わからない | n   |
|---------------------------------|-------|---------------|-----------|----------------|--------|-------|-----|
| ・施設配置や場所は適切である                  | 13    | 27            | 24        | 9              | 10     | 17    | 768 |
| ・必要以上に立派な施設が多い                  | 23    | 19            | 18        | 45             |        | 13    | 775 |
| ・老朽化が目につく施設が多い                  | 17    | 28            | 22        | 8              | 8      | 17    | 779 |
| ・利用者が一部の市民に偏っている                | 21    | 26            | 21        | 4              | 6      | 22    | 780 |
| ・利用料金は適正である                     | 13    | 18            | 22        | 3              | 3      | 41    | 774 |
| ・公共施設サービスの水準は十分である              | 5     | 16            | 27        | 9              | 11     | 32    | 774 |
| ・周辺の他市に比較して充実している               | 4     | 8             | 19        | 14             | 27     | 28    | 783 |
| ・道路や橋の舗装、コンクリートのひび割れなどの補修は適切である | 8     | 19            | 22        | 12             | 16     | 23    | 782 |
| ・道路や橋は清潔に保たれている                 | 8     | 27            | 25        | 13             | 15     | 12    | 779 |
| ・上下水道において、平常及び緊急時の問題対応は迅速である    | 7     | 20            | 23        | 4              | 5      | 41    | 780 |
| ・上下水道の利用料金は適正である                | 8     | 18            | 30        | 10             | 12     | 22    | 778 |
| ・公園の数は十分に整備されている                | 15    | 29            | 18        | 10             | 10     | 18    | 785 |
| ・公園の遊具等の設備の維持管理は適切である           | 6     | 21            | 23        | 9              | 11     | 30    | 777 |



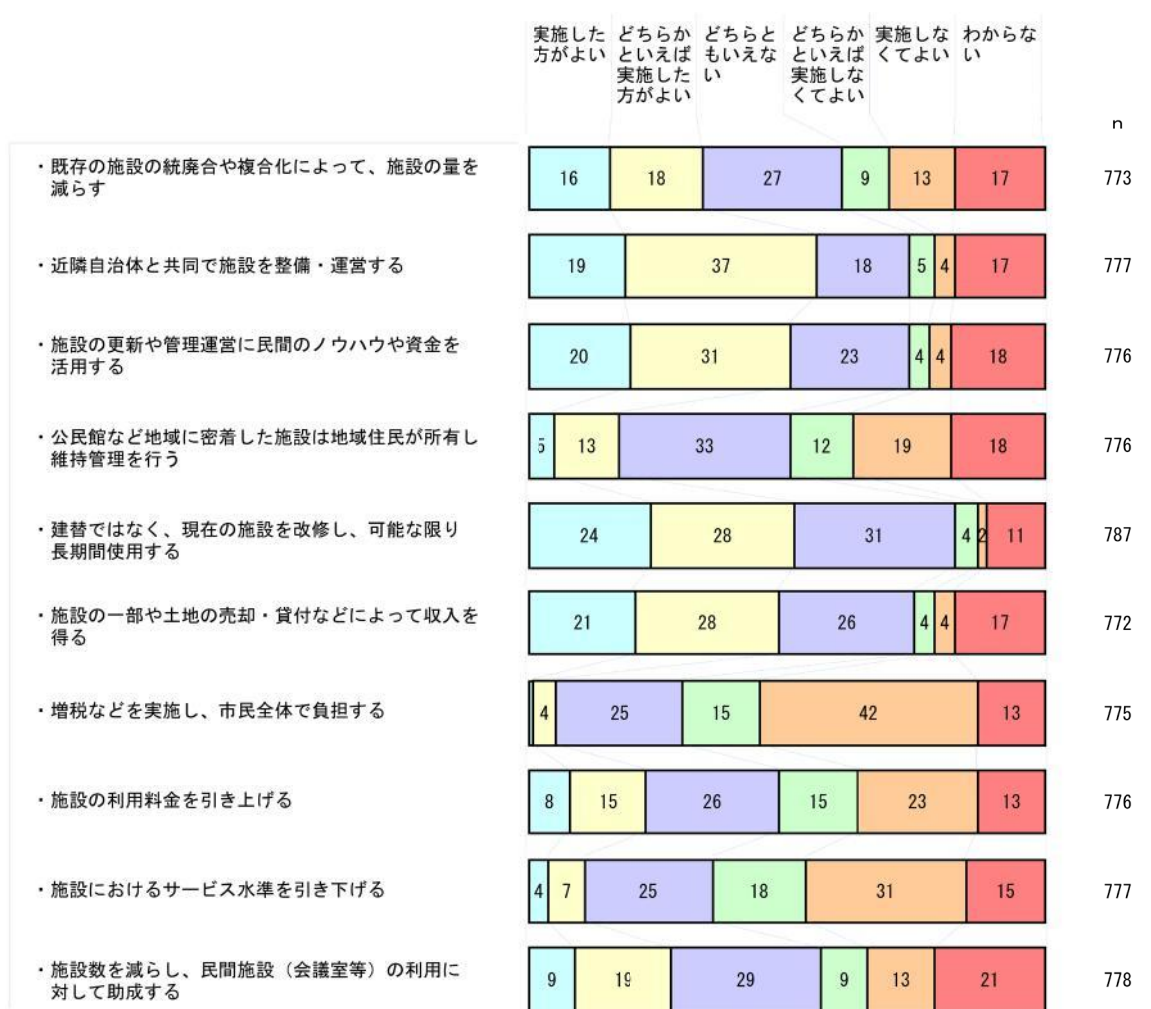
(5) 市で実施すべき公共施設に関する取組

【設問】

市では、財政状況が厳しくなるなか、公共施設において必要とされる公共サービスを安定的に提供していくため、様々な取組を検討しています。下記の取組を実施すべきかについて、あなたの気持ちに近いものをお選びください。(○印はそれぞれ1つ)

「近隣自治体と共同で整備・運営する」と考える人が6割近くを占めている。また、増税等の市民全体の負担には反対の意見が多いが、「現在の施設を改修し、可能な限り長期使用する」は、半数以上が実施すべきと答えている。

図表 5-15 市で実施すべき公共施設に関する取組



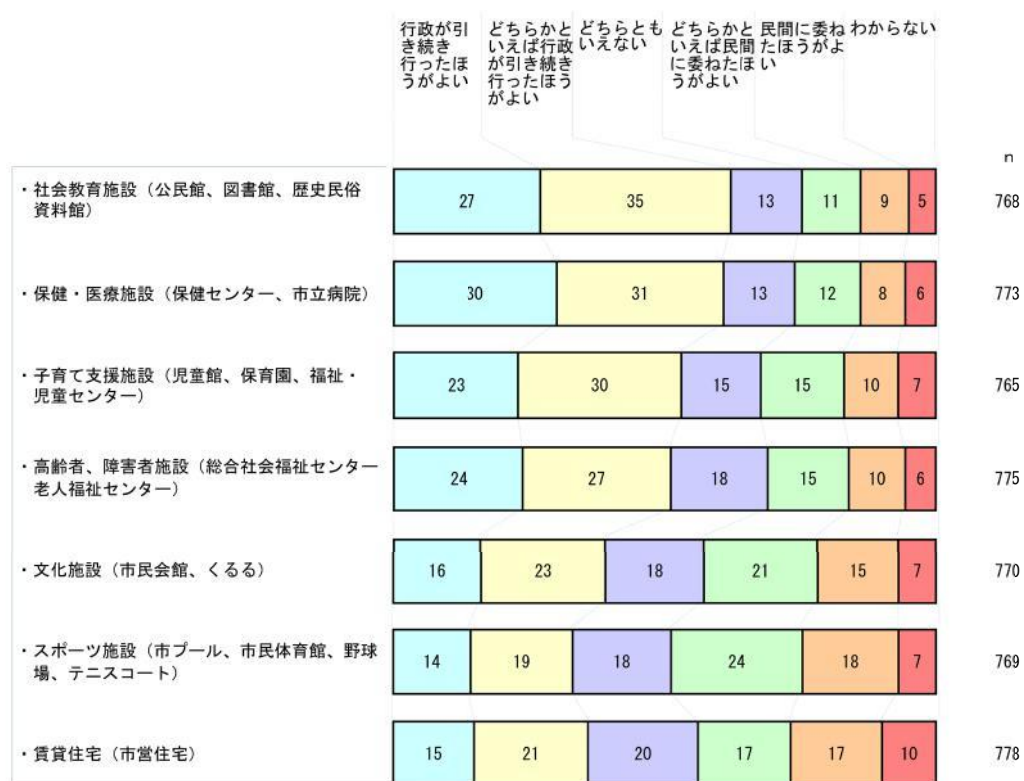
(6) 市が今後も提供すべき公共施設の機能

【設問】

今後、少子高齢化の進展等、人口構造の変化を踏まえた上で、現在公共施設が提供している機能に関して、行政が引き続き実施した方がよいか、民間に委ねた方がよいかについて、あなたの気持ちに近いものを1つずつお選びください。

「文化施設」、「スポーツ施設」、「賃貸住宅」については、「民間に委ねたほうがよい」と考える人が他と比べて多い。

図表 5-16 市が今後も提供すべき公共施設の機能



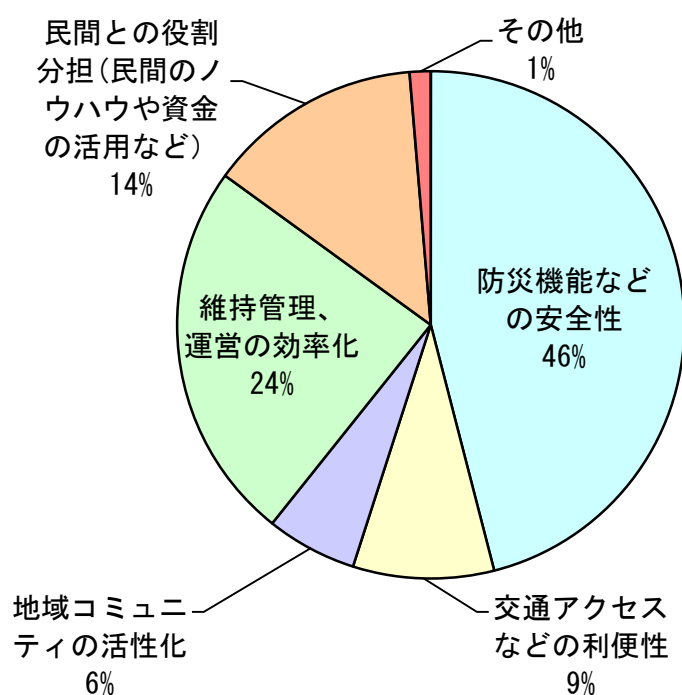
(7) 公共施設等の維持等に当たって重視すべきもの

【設問】

今後、公共施設やインフラ(道路、橋、上下水道等)等を維持・整備するに当たり、もっとも重視すべきと考えるものを1つだけ選び、該当する番号に○を付けてください。(○印は1つ)

重視すべきものは、「防災機能などの安全性」が5割近くを占め、次いで「維持管理・運営の効率化」という意見が多い。

図表 5-17 公共施設等の維持等に当たって重視すべきもの



### 3. 市民意識調査のまとめ

#### (1) 全体傾向

- 全国的に公共施設、インフラ等の老朽化やこれに伴う建替え需要の増大が各自治体の課題になっていることに対する認識度は6割を超えているが、蕨市が同じ状況におかれていることに関しての認識度は、4割程度にとどまっていた。
- 「保健センター、市立病院」を利用しなかった理由としては、他市や民間施設を利用しているという意見が多く、広域連携や民間施設利用の需要が多い。
- 「図書館」を利用しなかった理由としては、施設までのアクセスが不便との意見が他施設と比べて多く、約10人に1人が不便と感じている。
- 公共施設全般については、「利用者が一部の市民に偏っている」、「老朽化が目につく施設が多い」との意見が半数近くある一方で、施設利用者に対する利用料金は適正であるとの意見が3割を超え、「そう感じない」、「どちらかといえばそう感じない」を合わせた6%を大きく上回っている。
- インフラ（道路、橋りょう、上下水道）の維持管理状況については、否定的な意見は3割を超えるものがない。
- 公園の整備、維持管理状況については満足度が高い。
- 市で取組を行うべきとする意見では、「近隣自治体と共同で施設を整備・運営していく」が半数を超え、「建替えでなく、現在の施設を改修し、可能な限り長期間使用する」も同様に多かった。

#### (2) 地区別・年代別分析も踏まえた考察

- 近隣自治体との連携を実施すべきとの意見は、地区・年代を問わず、全体的な意見であった。蕨市は、他市と隣接していない地区がないため、広域連携等により公共サービスの充実を図ることも重要な視点である。
- 公共施設に対して、老朽化施設が多いと感じており、周辺他市と比べ充実度が低いとの意見がみられた。また、施設までのアクセスが不便と感じている地区は、錦町地区が最も多い。
- 上記以外の項目でも施設や施策別にみていくと、地区や年代で若干のばらつきがあることから、その要因については個別（施設の配置、料金等）に検討をしていく必要がある。